



運動会を終えて

学校長 海老澤 孝代

11月12日(土)の運動会は、全校児童が会して行われました。スローガン『白も緑も黄色も 全力応援! にじいろ笑顔で かがやく白根っ子』を目指して一人一人が考えて工夫しながら取り組み、自分たちで創る運動会となりました。どの学年の演技や競技等も素晴らしく、感動しました。「演技を早く覚えて楽しみたい。」「動きをそろえたい。」「もっと上手になるには、運動会を盛り上げるためには、どうすればいいのかな。」という思いを活かし、自主的に活動する姿がたくさん見られました。高学年の子どもたちは、応援団やリレー、係活動も頑張り運動会をしっかり支えてくれました。6年生の最終練習では、学年実行委員が「このタイミングを合わせたい。ここを合わせるともっと演技がよくなる。」と動きを示し、ペアで見合いアドバイスをしながら最後の仕上げをしていました。同じ思いを共有し目指す姿に向かって取り組んでいました。

また、ふれあいもたくさん見られました。互いに認め合っていて、素晴らしい演技や走りには「おー。」と感嘆の声が上がり、たくさんの拍手が送られていたのも、印象深く心に残っています。保護者の方からは、「演技を終えて戻ってきた班の子に、お兄さんお姉さんたちが拍手で声をかけながら温かく迎え入れていました。子どもは嬉しかったでしょうし、そのような姿を見ることができたことを嬉しく思いました。」とのご意見をいただきました。

運動会実行委員は、開閉会式の運営やスローガン、キャラクターの掲示などの活動の他にも何かできないかと考え、SDGsの視点で「ゴミがない」「公平」についても取り組んでいました。ゴミがないように保護者の入れ替えの時間にゴミ袋を用意していました。公平に見ることができると優先席で声掛けを行ったり、自分の色だけでなく全校みんなに頑張ってもらいたいからと、応援グッズに応援メッセージを書くことを提案したりしました。これらも、どのような運動会にしたいのかを考える中で、子どもたちの意見として出てきたものです。実行委員長は閉会式で、「小学校最後の運動会を最高のものにして、『こんな運動会を創りたい。』と思ってもらえるようなお手本になりたい。1~5年生には今年の思いをつなげて、これまでになかった新しい運動会、児童も保護者までもが楽しめる最高の運動会を創ってほしい。」と熱く語ってくれました。

今回の運動会で子どもたちは、仲間との関わりや異学年との触れ合いの中で様々なことを学びました。よりよい白根小学校にしていくヒントがたくさんあったことと思います。子ども自身が自らの成長を感じ、自信をもって、これからの学校生活を生き生きと過ごせることを願っています。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。